



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

北朝鮮のミサイルによる挑発行為が北東アジアの地政学的不安を高め、米国の軍事外交ビヘイビアを活発化させたことと仏大統領選が重なって、世界のマーケットはリスク警戒ムードが高まっていたが、仏選挙はとりあえず親EUのマクロン氏勝利の可能性が高まったことでトレンドが反転して、株式市場は欧州市場で急反発、米ナスダックが最高値更新、そして日本株市場も下落幅を解消してGW入りしました。

世界経済はIMFが2017年見通しで世界全体の成長率を引き上げて、経済ファンダメンタルズの転換点に在る旨のポジティブなコメントを出すなど、成長基調回復の兆しを強めており、とりわけ米国経済の底堅さが日本・欧州の先進国経済にも追い風の環境をもたらしています。

加えて中国経済が財政投入効果で需要回復を見せたこともあって、エネルギー価格の安定と共にハイテク製品の需給も好転、グローバリゼーションの好循環を取り戻しつつあると感じられます。

米国経済は企業業績も堅調で、完全雇用と共に物価上昇率も2%を超えて来ていることから、年間を通じて利上げ傾向と長期金利上昇基調が保たれるとすると、トランプ大統領の口先介入があろうとドル高トレンドの安定方向を前提に為替を考えるべきであり、不確実性を除けば株式市場は世界全体に価格水準を上振れさせる条件を整えて来ていると言えるでしょう。

しかし相変わらず北朝鮮の暴発リスクで世界的影響につながる有事警戒モードを緩められず、またEUでは英国の離脱交渉本格化が次なる相場変動要因であることに変わりありません。不確実性の高まりは即ちリスクの増大ですが、それを長期的に克服して果実にするための国際分散ポートフォリオが「セゾン号」の根本ポリシーであり真骨頂です。

短期的ノイズに動じることなく、地球経済の長期安定成長軌道をしっかり捉えた運用を堅持しております。「長期・積立・国際分散」投資がますます有効性を発揮するはずです！

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド SAISON Vanguard Global Balanced Fund

4月の市場動向

株式：【国際情勢の不安定化への警戒が高まり途中まで軟調に推移したものの、終盤に落ち着きを取り戻して上昇】
途中まで景気の先行きに対する楽観的な見方が後退するなかで、中東情勢や北朝鮮情勢を巡る警戒が高まったほか、フランスの大統領選挙を控えて欧州でも政治的混乱への警戒が高まり軟調に推移したものの、終盤には警戒が和らいで上昇しました。

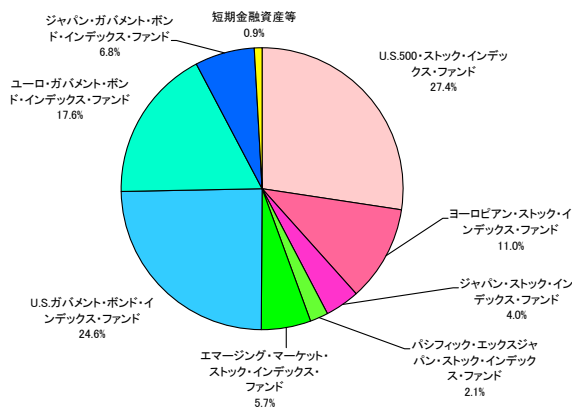
債券：【国際情勢の不安定化への警戒は和らいだものの、景気の先行きに対する明るい見方が後退して堅調な展開】
前半、景気の先行きに対する楽観的な見方が後退するなかで、国際情勢の不安定化への警戒が高まり安全資産としての需要が高まって上昇し、終盤には警戒が和らいだものの、先行きに対する慎重な見方は根強く、物価上昇観測も後退したことから底堅い展開となりました。

為替：【ユーロが上昇し、ドルがやや軟調。円は途中まで上昇したものの終盤に下落し、対ドルではほぼ変わらず、対ユーロで円安】
米国経済の先行きに対する楽観的な見方が後退してドルが軟調な展開となる一方、ユーロは終盤、政治的混乱への懸念が後退したことを受けて上昇しました。円は途中までリスクを回避する動きが強まるなかで上昇しましたが、終盤には警戒が和らいだことを受けて反落しました。

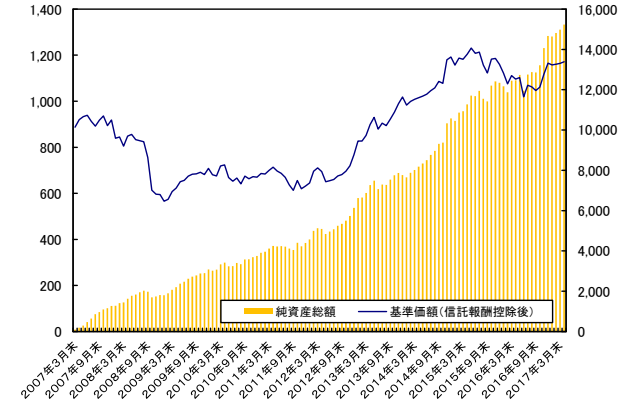
基準価額と純資産総額及び騰落率（2017年4月28日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
13,384円	1332.8億円	+33.84%	+0.56%	+10.38%	+6.86%

資産配分状況(2017年4月28日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



4月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでのご購入などにより皆様からお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、債券ファンド及び株式ファンドへの投資を行いました。

ファンドマネジャーからの一言

今月は、米国、欧州、新興国の株式に投資するファンドが上昇したほか、債券に投資するファンドが全て上昇し、投資先のファンドが基準価額の上昇要因となりました。為替は当ファンドの評価時点では、対ドルで円高、対ユーロで円安となり、小幅ながら基準価額の下落要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。

当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

※変動要因については、右側の図1、図2もご参照下さい。
※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

運用部 瀬下 哲雄

図1 4月度の投資先ファンド価格の変動による影響
※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

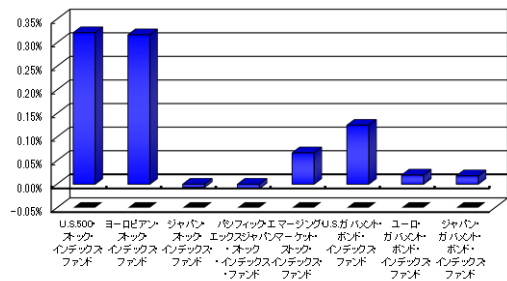
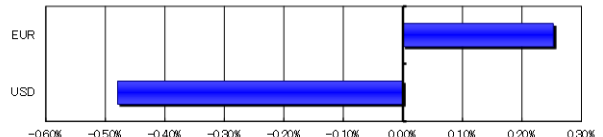


図2 4月度の為替変動による影響
※月末の投資比率に基づく概算値



当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.4968%（税抜0.46%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.68%±0.03%（税込/概算）となります。

その他の費用・手数料

当ファンド：

監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

投資対象とする投資信託証券：

・投資対象国、市況の変化、あるいは制度の変更等を考慮し、バンガードが定めることにより、購入時及び解約時にファンド財産維持手数料がかかることがあります。

・ファンド財産維持手数料とは、当ファンドの信託財産から買付もしくは換金（解約）した際に、ファンド自身に、直接支払われる留保金であり、販売手数料や解約手数料とは異なります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することが出来ません。

※投資家の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

「Vanguard」（日本語での「バンガード」を含む）及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）